



# 片山かおるの ちょっとカエル通信

77号



## おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

小金井市議会議員

発行日：2018年2月26日

緑・市民自治こがねい会派ニュース

発行・連絡先：小金井市議会「緑・市民自治こがねい」 小金井市本町6-6-3

## 市政施行 60 周年。

2018 年第 1 回定例会が始まりました  
(2/21 から 3/26 まで)



## 差別のない、障がい者の権利がいきづく町へ

### 史上最高の財政規模！ 440 億円的一般会計予算提案 (3/9 ~ 3/16 予算特別委員会)

昨年より 40 億円多い一般会計予算が提案されました。個人市民税が 1 億 9000 万、固定資産税が 6600 万円増えていますが、国や都の負担金や補助金の増加が大きく影響しています。一方、地方消費税交付金が減り、市債が増えていることが気になります。市政施行 60 周年記念として 33 事業が提案されています。市長公約のグランドデザイン策定も入っていますが、第 5 次基本構想策定スケジュールや予算との関係がどうなるのか。新庁舎と新福祉会館建設設計費は当初予算には計上されず、補正予算になるとのこと。

認可保育所 3 所と小規模保育所 1 所が開設されますが、公立保育園民営化の協議が続けられています。三小のあかね学童が大規模化する中、現在の 3 所から 5 所に増やし、さわらび学童やみなみ学童の委託費用が計上されました。



### 婦人相談員(母子・父子自立支援員と兼務)が 非常勤化？

様々な事案での女性の相談のカナメである、婦人相談員が常勤から非常勤化されようとしています。相談の重さや仕事の内容から、非常勤ではこれまでのような対応ができなくなる恐れがあり、いくつもの女性団体から陳情が出されています。市は行革の観点から、職員の非正規化をどんどん進めようとしています。市民の不利益になる行革はやめるべきです。

### 『障害のある人もない人も共に学び 共に生きる社会を目指す小金井市条例』 の審議を通して、みんなに知ってもらおう！ (3/5 厚生文教委員会 [予定])

自立支援協議会の発議によって作成が始まった、小金井市版「障害者差別解消条例」。多くの市民に知ってもらう必要があります。特に子どもの頃から「共に学び共に育つ」ことで、差別すること自体考えられないぐらい、誰もが共に生きるのが当たり前の社会になれるといいですね。小金井にとって必要不可欠な基本条例となるでしょう。そのためにもしっかりと審議を尽くすことが重要です。学校での教育をもっと重視した形で位置付けること、差別を受けた方からの相談、調整、解決には、第 3 者機関を作ることも必要です。

市民からは多くのパブコメが寄せられています。多くの意見を反映して、条例の議論を通して周知を広げ、公聴会なども開いて、当事者や、策定に関わった人たちの思いを、公開の場で記録に残していくことが重要。

市政施行 60 周年事業の全てで、この条例の周知を進めることも効果的です。



### 2/25 は日曜議会。 市長の施政方針への質疑

西岡市長の 2 度目の施政方針。前回とだいぶ雰囲気が変わりました。会派別の質疑が行われます。

緑・市民自治こがねいは、14:00 ~ 14:30 まで。片山 15 分、坂井 15 分。

私は、施政方針に書かれていなかった生活困窮者支援と、市民参加の重要性について質疑をします。

## 片山かおるの一般質問 (3/2[金]10:00~)



### 1 「暮らしの中の困りごと」に 対応できる市政に

「ようこそ滞納いただきました」「滞納は生活状況のシグナル」と捉える滋賀県野洲市の債権管理条例。また、くらし支え合い条例では「生活困窮者の発見に全力を尽くす」といった主旨も書かれている。市民生活相談課を参考に、福祉総合相談窓口の体制づくりを行わないか。

- 1) 小金井の生活困窮者自立支援事業の状況
- 2) 野洲市の市民生活相談課の各課連携、アウトリーチを参考に、庁内再編しないか
- 3) 野洲市の債権管理条例、くらし支え合い条例のような生活困窮者支援の条例の検討を
- 4) 「やすワーク」のように庁内でハローワーク機能を持つことは可能か

### 2 子どもも主体になれる、 地域の要になる公民館づくりを

これからの公民館のあり方を考える上で、多世代交流は重要なポイントだ。集会所と違い、職員がいて常に開かれていることで、ロビーなどが子どもたちの溜まり場になっている公民館もある。子どもの権利条例ができて10年。子どもたちが居場所にしていく公民館を活用し、地域の人と多世代交流しながら子どもが市政に参画できる場を増やしていかないか。

- 1) 子どもたちは公民館をどのように利用しているか。ロビーの活用。講座企画への参加など。子どもでも利用しやすいシステムづくりを
- 2) 地域との連携について。国分寺や小平の事例を参考に、地域課題を解決できる公民館講座の検討を

### 3 子どもの貧困対策として就学援助 制度は有効に活用されているのか

- 1) 認定倍率が下がる中でその影響は。生活保護基準が下がることによる影響は。利用率の変化は。市部でも低い利用率を上げて有効活用すべきではないのか。周知の工夫は
- 2) 義務教育の学校経費の保護者負担を軽減するため、すべての経費を見直すべきである

#### 片山かおるプロフィール

1966年生まれ。厚生文教委員、議会運営委員、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員。国民健康保険運営協議会委員。市民グループ「市民自治こがねい」共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。全国フェミニスト議員連盟、市民自治をめざす三多摩議員ネット、「原発事故子ども・被災者支援法」推進自治体議員連盟、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワークなどに参加。

### 国保や介護の制度改正など、 40を超える議案が提案予定

国民健康保険の制度が大きく変わろうとしています。東京都が一元管理することにより、負担が増える人が多くなります。介護保険や下水道料金も値上げに。公園での撮影に料金が設定されようとしています。

少しずつ市民負担が増えていくことで、格差がさらに開くことにならないでしょうか。

### 国連から福島原発事故対応への 勧告が出ました

政府は3/16までに国連からの勧告に回答をだすことになっています。「国連人権理事会 UPR 作業部会による原発事故被災者対応への勧告を受け入れることを求める意見書」を作成し、前半(3/2)の本会議での議決をお願いしました。日本の原発事故被害への対応のひどさに、世界が注目しています。再稼働を進めている場合ではありません。



#### 議会日程

- 2/21(水) 本会議初日
- 2/22(木) 本会議
- 2/25(日) 日曜議会
- 2/26(月) 休会 国民健康保険運営協議会19:00から
- 2/27(火) 28(水) 3/1(木) 2(金) 一般質問  
(坂井は2/8(水)16:30予定。片山は3/2(金)10:00)
- 3/5(月) 厚生文教委員会
- 3/6(火) 建設環境委員会
- 3/7(水) 総務企画委員会
- 3/8(木) 議会運営委員会
- 3/9(金) 12(月) 13(火) 14(水) 15(木) 16(金)  
(16日のみ13:00開始) 予算特別委員会
- 3/19(月) 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会
- 3/20(火) 行財政改革推進調査特別委員会
- 3/22(木) 予備日
- 3/23(金) 議会整理日
- 3/26(月) 最終日 本会議

詳しくは議会事務局まで(042-387-9947)  
(原則は10:00から始まります)



◇片山かおる 連絡先◇  
小金井市中町4-17-11 TEL:042-316-1511  
<http://katayamakaoru.net/> office@katayamakaoru.net  
ツイッター、フェイスブックは「片山かおる」で検索

●ご意見、ご感想をお寄せください